

お初にお目にかかります、元地方銀行員の幾美こと I です。入社してやっと一か月が経過したところなのですが、恐れ多くも Imadoki にコーナーを持つことが決定いたしました。

私は、静岡から伊勢に引っ越して来るまで、銀行員として「何が何でも紙で管理!! 現金も手で数える!! 円合わない? 帰れません!!」という超アナログな働き方を経験して参りました。そんな小娘 (26 歳) が縁あってハイパー IT 企業コムデックに中途採用され、様々なクラウドサービスを前提とした働き方に振り回されながらも徐々に使いこなしていく過程を描いた感動巨編ノンフィクション (監督: 社長、主演 & 脚本 & カメラ & 編集: I) になる予定です。全米を泣かせるつもりで執筆に動きます。目指せアカデミー賞!!

最初は、「DX ...? いったい何がデラックスなんだ...?」と思っておりましたが、DX (デジタルトランスフォーメーション) でした、入社からやり直してきます。

そんなレベル感が話が進んで参りますので、お客様のお役に立てるように有益な情報を... と言いたいのは山々ですが、既に弊社からたくさんクラウドサービス導入して頂いた企業様は「あうちもこんな時があったなあ」と昔を懐かしんでいただき、これからクラウドサービスを導入しようという企業様は是非この驚きと戸惑いを共有していただければと存じます。

普段は総務としてオフィスに引きこもっているのですが、皆様にお会いできる IT 活用戦略セミナーを楽しみにしております!

顔だけでも覚えて帰っていただけるように、受付で 0 円スマイルを振りまく予定です。SNS 投稿も担当しておりますので、併せてご覧いただければ幸いです!



▲ すでにアカデミー賞女優の風格を継ぐ 22 年前の筆者



✎ Imadoki コラム

小学生向けの IoT シューズ UNLIMITIV (アンリミティブ) お値段 4,000 円也

先月の事ですが、「パパのスマートフォンに”あんみりていぶ”のアプリ入れて!!」と小学 4 年生の次男にせがまれたので、新しいゲームかと思ったら、運動靴と連動したアプリで吃驚しました!!

子供がいない方は全く知らないと思いますが、最近では子供向けの IoT アイテムが増えてまして、「UNLIMITIV」は靴の中敷きに Bluetooth 対応の加速度センサー等が内蔵されたモジュールが内蔵されて「運動量」が測れる運動靴。

運動した分だけポイントが溜ってアプリ内のゲームができるのはお約束ですが、運動がそこに入ると親もゲームは駄目とは言いにくい... 懐かしの WiiFit の時と同じく運動+ゲームは親も断りにくいです、上手いトコを突いてきます。しかもお値段 4,000 円と手が届かない金額でもないって事で、小学生の間で大ヒット商品になっているそうです。

他にもツブツブ言いながら PS4 でゲームしてるとしたら、友達とボイスチャットしながら人気ゲームの「フォートナイト」をプレイして驚かせられたり小学生の IT 活用力には圧倒される事が多いです。

大人が LINE の利用で止まっている間に、小学生の IT 活用はどんどん進んできています、負けるな大人!! 負けるな中年同士一!!



Imadoki

2019 06
June 06

vol. 50



Imadoki は、丸4年を超え、50号を迎えました。

お客様との接点の一つでも増やし、継続的に役に立つ情報を提供しようという思いで続けてきた「Imadoki」。

「読んでよ」「回覧してるよ」という声に支えられて現在では毎月 200 件のお客様にお届けさせていただいておりますが、遂に50号の節目を迎えることができました。

時々「Imadoki」は誰が書いているの? と聞かれますが、第一号から私自身が毎月ほぼ 100% 書いております。

「Imadoki」の原稿を通じて、執筆作業が如何に大変ということをお知らせいたしました、何が大変かということ、毎月締切ある事です (笑)

幸い IT は日進月歩の正解ですからネタに困るということは殆どなかったのですが、原稿を書く量が多いため、締切が近づくと業務終了後に「コメダ珈琲」、「元町珈琲」、「珈琲ランプ」、「スターバックス」をローテーションしながら原稿を書く日が続くことになりました。

「Evernote Business」の機能をフル活用して原稿を執筆しており、「Evernote」の原稿ノートから印刷データを作成してくれる「ルールデザイン」さんとの間で原稿ノートを共有、チャットで意見交換しながら 2 週間程で完成させていきます。

最後工程である印刷も、ネット印刷サービスの「ラクスル」や「プリントバック」を使っていますから、「ルールデザイン」さんとは、基本的に電話で会話することも会うことも無く、「Imadoki」の原稿は完成しますので、チョット寂しいですね (^_^)

過去に日記や Blog は挑戦しては何度も挫折していますが、4年にわたって続ける事が出来ているのは奇跡的であり、お客様様に情報をお届けしたい弊社の思いの集大成であります。

今月からは、私も少しだけ楽をさせてもらえるように、元銀行員である社員に半ページ任せてみる新企画「元銀行員 幾美の DX チャレンジ」もスタートさせるなど、今後も様々な企画で皆様のお役に立つ Imadoki をお送りいたしますので、ご期待ください!!



“デジタル・トランスフォーメーション(DX)”

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念で、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱したとされています。

今回のIT活用戦略セミナーの重要キーワードでもある「DX」は、働き方改革に必要とされる生産性向上に必須とされています。IT技術の普及によって生じた、アナログ(紙)からデジタル化(データ)、そしてインターネットの登場により過去になかった衝撃と変化を企業活動だけでなく、個人の暮らしにも与え大きな変化をもたらした...ハズなのですが、まだまだ地方の中小企業や、普段の暮らしにはあまり関係ない気もしてませんか?

DXによる変化は皆さんの生活を変えようとして始めています。今月のImadokiでは、IT活用戦略セミナー開催直前特集として、身近な例からDXの実際をご紹介させていただきます。

実例 1 週末に必ず訪問していたレンタルビデオ店が無くなっていく



レンタルビデオ(CD)といった業界は、NETFLIXやSpotify等の定額ストリーミングサービスに一気に駆逐されつつあります。アメリカでは最盛期には9000店舗あったレンタルビデオチェーン「ブロックバスター」が昨年遂に最後の1店舗を残して閉店してしまいました。日本でも「TUTAYA」「GEO」に代表される「レンタルビデオ(DVD)」「レンタルCD」「レンタルコミック」の三大レンタル産業は、定額型のネットサービス(サブスクリプション)に駆逐されて風前の灯火となっています。気になる映画を週末に見るためにDVDレンタルに訪れていた「TUTAYA」にも全く行かなくなりました、特に「GEO」は既にリユースに力を入れており現在では「ブックオフ」がライバル店舗の様になっていますね。

■ レンタルビデオ



■ レンタルCD



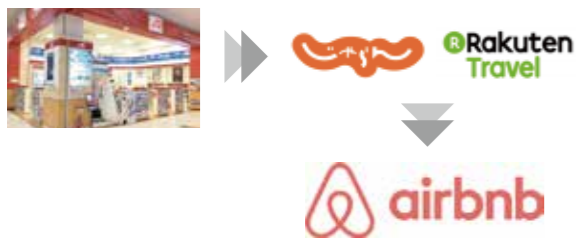
■ レンタルコミック



実例 2

部屋を所有しない宿泊業「Airbnb」

ひと昔前、旅行と言えば「近畿日本ツーリスト」や「JTB」の店舗で予約するのが主流でしたが、インターネットの登場で「楽天トラベル」や「じゃらん」での予約が主流となり、現在は更に民泊サイト「Airbnb」の登場で選択肢が広がっています。Airbnbは自宅の空き部屋を活用した、民泊サービスを提供するインターネット上にあるプラットフォームで、2019年3月時点でAirbnbは191以上の国々、世界81,000の都市に600万件以上の物件があります、日本でもインバウンドの増加に伴い一気に普及しましたが、業者の参入や宿泊者のマナー問題等で社会問題化、旅館業法による規制がかかってしまいました。ホテルと違って、民泊を提供する側も、利用する側も全てデジタイゼーションされており電話でやりとりしたり、紙で予約を確認したりすることは無いため低価格であり、現在では国内二大宿泊サイト「楽天トラベル」や「じゃらん」でも取扱われる程になっています。



実例 3

オンラインの塾「スタディサプリ」による教育市場の変革

私の長男(中二)の勉強方法について研究していたたどり着いたのが、リクルート「スタディサプリ」。

月額980円で主要5教科全ての授業動画が見放題であり、幼いころからiPadに慣れ親しんでいる彼に最も向いている勉強方法の様で、今のところ続いています。

親としても塾代より安上りで大助かるだけでなく、動画閲覧履歴、正答率を親が確認できる保護者用画面も提供される事で子供がちゃんと勉強していることも確認できます。

元々「東進衛星予備校」が有名講師の映像授業を提供していますが、高額であり教育費が大きな負担となります。

「スタディサプリ」の登場により高品質な授業動画が多くの子供たちに安価に提供されるようになったことは、教育の公平性の面からも社会的意義は大きいと言えます。

小中学校の先生の授業は先生間の個人差やクラスメートによる格差生じやすく、極めて不公平、不完全な仕組みではないでしょうか?

「スタディサプリ」は、2017年からは渋谷区の公立学校授業にも取り入れられるなど、教育の現場すら動かし始めたサービスであり、子供たちの大きな武器となる勉強法ですが、同時に授業クオリティを担保できない「塾屋さん」にとっては大きな脅威となっています。



豆知識

なぜデジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)は「DT」じゃなくて「DX」? DTと表記されるのが自然かと私も思っていたのですが、「Trans」を省略する際にXと表記することが多いそうです。なので、デジタルトランスフォーメーションはDXと表記されているそうです。

経営者様向け情報

サイボウズ Kintone(キントーン) 活用が全国的に活発化してきました

弊社オフィス見学ツアーで大好評頂いていたITサポート部の作業工程管理用「ポストイット」ですが、DXの波に押され、遂に終焉を迎えました。デジタル活用企業にキラリと光るアナログ管理と自慢していましたが、評価制度の導入に伴い、納品件数や受注金額、完納金額等の数字を毎回計算する煩雑さが欠点としてクローズアップされました。クラウド事業部に相談したところ、紹介されたのが「Kintone」の新プラグイン(機能追加)である「KANBAN」。

案件毎に必要な情報を「ポストイット」の様に管理出来るだけでなく、担当や分類毎の抽出や集計も自由自在で凄いなプラグインで一気に問題が解決しました。これぞDX(デジタルトランスフォーメーション)(^^)

■ DX化したメリット

- 週報や月次会議の為に数字を集める必要も無くなる
- 集計された数字が毎月自動記録され、評価制度にも活用できる(一粒で二度美味しい)。
- 各担当も、案件件数・金額把握しやすくなり対応が早くなる。
- 何処にいても、他の事業部でも案件の状態が会社全体で共有できる



お金がかかる事以外は良いことだらけの「KANBAN」プラグイン、早速導入されたお客様もあり好評だそうです。営業案件管理にお悩みの経営者様の福音となるか!? IT活用戦略セミナーでも展示予定ですので是非ご覧ください。



プレゼンターとして熱弁を振るう生田専務

そして、社内だけでなく、お客様の導入経験を引っ提げて出場したのが、「Kintone hive OSAKA」。

「Kintone hive」はサイボウズ社が主催する Kintone のユーザーイベントで、当日の会場「なんば hatch」には400名を超える Kintone ユーザーが集結し、一大イベントとなりました。

優勝して東京の本選を目指しましたが、残念ながら次点あたりか...しかし弊社の事例は Kintone ユーザーの共感を集め、多くの方にスライド撮影いただいたり、講演後も名刺交換、意見交換に忙しい時を過ごす事となりました。

ユーザー自身がアプリを作成でき、業務改善を進めていけるクラウドサービス「Kintone」、昔の「ACCESS」や「EXCEL マクロ」の様に、ユーザー様自身でのアプリ開発による業務回線が活発に行われていきそうです。



▲登壇者の Kintone ユーザーの皆さん